

あなたの「キレイ」が危ない！！

その日焼けで、あなたの細胞は死んでしまいます。

【紫外線は肌老化の最大の要因】

色素沈着の促進

新陳代謝により排出されるメラニン色素が肌内部に残存し、肌の黒化、シミ、ソバカスの原因となります。過度の日焼けはメラノサイトを活性化し、恒常的にメラニン色素を作り出します。

保湿効果の低下

紫外線は皮脂膜・細胞間脂質・NMF成分の働きを弱め、肌の保湿機能やバリア機能を低下させ、肌はかさついた状態となり、様々な肌トラブルが発生しやすく肌老化を促進します。

新陳代謝の乱れ

紫外線は表皮細胞を傷付け、肌細胞の再生（新陳代謝）に乱れを生じさせます。その乱れは表皮角質層の保湿機能やバリア機能にも悪影響を与え、肌老化を促進します。

真皮構造の変性

紫外線は真皮まで影響を及ぼし、コラーゲン・エラスチン・ヒアルロン酸などに支えられた真皮の層構造に損傷を与えます。真皮が変性すると肌は弾力を失い、シワやタルミが発生します。

活性酸素の発生

紫外線を浴びると皮膚に活性酸素が発生し、皮膚に存在する脂質を過酸化脂質へと変えます。細胞の機能を低下させ、様々な肌老化を誘発させます。

遺伝子の損傷

紫外線は細胞の遺伝子（DNA）を傷つけます。遺伝子の傷は自然と修復されますが、大量の紫外線を浴びると突然変異が起きやすく皮膚ガンへとつながり、免疫力も低下させます。

【ご注意ください！！】

UVAは一年を通じて、コラーゲンやエラスチンを作る線維芽細胞を破壊します。ガラスや衣服までも通り抜けますので、室内でもお肌に蓄積し、シミ、シワやタルミの原因になります。

UVBは5月～8月がピークで、10月～3月は比較的少ないのですが、ゼロではありません。表皮の細胞を破壊するなど、人体に与える影響はUVAより強く、シミの原因にもなります。

また、曇りでも雨でも紫外線は降り注いでいます。

レーザー等の施術を受けている方は日焼けには特にお気をつけください。

効果が上がらないばかりか、悪化する場合もございます。



医療法人社団 淳真会

前田メディカルクリニック